

五 果物（西瓜、イチジク）

果物の中でスイカとイチジクには忘れられない思い出があります。まずスイカです。

私が中学四年生の秋から五年生を全部腎臓病にかかつて学校を休んだのでまことにずいぶんな親不孝をしたものでした。この病気は尿の出がよくないといけない、それにはスイカがよいというので母は毎日、市場に行つてスイカを買つて来てくれたのです。冬になるとスイカがないのでスイカ糖といつて、スイカの汁をかわかしてつくつたものを買つて来て飲ませてくれたのでした。したがつてスイカといえばすぐ母を思うのです。東京で速記の学校を始めた頃、毎年八月十二日の私の誕生日が来るとスイカを全校生にふるまい、母を思う話をしたものでした。

それからイチジクです。これは私の生まれた家の庭に大きなイチジクの木があり、毎年たくさん実がなり、それをいつも取つていたのです。したがつてリンゴを食べてもミカンを食べてもバナナを食べても母を思うことはないのですが、スイカとイチジクを見るとすぐ母を思うのです。私をはじめて四国に行つたのは大正十一年、高知にいったのですが、その後改めて四国四県に講演に行つたのは昭和十二年でした。そのとき岡山県の宇野から高松に渡つた時、いちばん先に目についたのはイチジクの木でした。桜の木を見ても梅の木を見ても母を思うことはないのですが、イチジクの木を見るとすぐ母を思うのです。長い間